



くまさん倶楽部

〈編集発行〉熊本日日新聞西部販売(株)
八代市田中西町19-2
TEL0965-34-5151
<http://www.kumasanclub.com>
E-mail:kumasan@kumasanclub.com

523号
2024.4.1



〈写真〉米澤美穂
(撮影場所:阿蘇)

- 2. 地域交流イベントが行われました
- 3. がまだせやつちろっこ
- 4. 第45回消防意見発表会

熊日新聞朝刊と一緒にお届けします！
配布エリア
代陽・八代・松高・八千把・郡築の5校区

七いん

お客さま第一主義

クルマのことはショーエイにおまかせ！

車検のご予約はWEB予約がオススメ♪

- ◎営業時間外でも受付可能
- ◎早期予約割引制度も有り

WEB予約ページへのアクセスは
こちらのQRコードから！
「車検申込カレンダー」の
ご希望の日付を選んでください



※当日ご入庫のご予約は受付できません。お電話にてお問合せください。

車検のショーエイ 松栄整備株式会社
やつしろ港センター工場
☎0965-62-9900

■八代市大島町 5053-2 ■営業時間 9:00 ~ 18:00 ■定休日: 日曜・祝日



車検のショーエイ

軽自動車・普通車から大型トラック・フォークリフトまで、大切なクルマのことは車検も修理もおまかせください！レッカー車・サービスカー完備で急なトラブルにも対応いたします！

★熊日新聞ご購入のお申し込みは… 0120-249021

地域交流イベントが行われました

2月18日(日)に松崎町第二町内自治会主催の「ふれあいグラウンドゴルフ交流会・町内防災訓練」が開催されました。

今回の地域交流イベントは、町内の異世代間で楽しく取り組むことで親睦交流を図る、町民相互の信頼関係を深めることで、災害時の救援活動を円滑に進めることができる環境を作る、町内の異世代が交流を深めることでリーダー育成の環境を整えることを目的として開催されました。当日は、子どもからお年寄りまで約70人が参加し、松崎グラウンドにてグラウンドゴルフの交流会からスタートしました。



その後松崎集会所にて、ぜひんざい交流会が行われていたところ、出火したという想定で避難訓練が行われました。

Q 今回が初めての試みというところで、実行委員長さんにお話しを聞きました。
A 開催のきっかけを教えてください。

Q 本年度の自治会の活動方針として、「町民の親睦がより深まることで災害時の共助が円滑に図られることを願って、文化・体育的行事などに取り組むことを掲げました。それに基づいて実施した9月のふれあい文化祭の成功が後押しとなりました。

Q なぜグラウンドゴルフ交流会と防災訓練を一緒に開催しようと思いついたのですか。
A 災害は、ときや場所、人を選ばないという事実が根底にあります。町内の自主防災会議で検討し、「様々な人々が集う井戸端会議のように、防災について学べる機会を設けよう」ということから取り組むことになりました。

9月のふれあい文化祭では、



参加者が熊本地震の体験を語る中で、日頃の繋がりが減災や防災につながることを共有しました。そして今回、初期消火・避難訓練に取り組みました。

Q 開催にあたり大変だったことは何ですか。
A 何といっても、開催趣旨に即した取り組みとなるよう、関係者の理解と協力を得ることでした。そのため、実行委員会を立ち上げ、様々な意見や提案を極力活かすことで、実行委員が主体的に関わることを大切にしました。

Q 今回、松高校区体協、市危機管理課など様々な機関と連携を取る中で、大変だったことはありますか。
A 実行委員会からの相談やお願いに対して、丁寧に対応していただいたことで、私たちが大変だったこととはありません。用具の貸し出し、水消火器の



Q 参加者の方々から、「お年寄りから子どもまで一緒にやるということが良かった」「体を動かした後の甘いぜんざいはとても美味しかった」「子供は消火器に触ったことがなかったので触れる機会があったら良かった」「次回も参加したい!!」という感想に努力が報われました。課題は、少子高齢化や核家族化の影響などもあり、町内行事に様々な世代が参加するこ

Q 参加者の方々から、「お年寄りから子どもまで一緒にやるということが良かった」「体を動かした後の甘いぜんざいはとても美味しかった」「子供は消火器に触ったことがなかったので触れる機会があったら良かった」「次回も参加したい!!」という感想に努力が報われました。課題は、少子高齢化や核家族化の影響などもあり、町内行事に様々な世代が参加するこ

Q 参加者の方々から、「お年寄りから子どもまで一緒にやるということが良かった」「体を動かした後の甘いぜんざいはとても美味しかった」「子供は消火器に触ったことがなかったので触れる機会があったら良かった」「次回も参加したい!!」という感想に努力が報われました。課題は、少子高齢化や核家族化の影響などもあり、町内行事に様々な世代が参加するこ

とが少なくなつた分、子どもたちと高齢者がどのように協力し合うのか、戸惑っている様子が見受けられたことです。今後、ふれあいの機会を継続的に提供していくことも改善策の一つだと考えます。アンケート結果で参加者のほとんどが次回の開催を望んでいるので、来年度も開催する方向で検討します。

がまだせ!
やっちろっ子
スパルタンズ



クラブチームです。チーム名の由来は、チームロゴのデザインにもあるように、どんな強敵にも恐れず立ち向かう騎士のように



る時に気を付ける点、意識する点などを指導しています。また、その日の練習が終わったから「また今度〜」ではなく、次の練習までに今日の練習の『良かったこと』『悪かったこと』『つぎどうするか』を振り

習でも「自分で主体的に考えて行動する」とです。例えば、体育館を出入りする際の挨拶、コーチ



つために準備したことを存分に発揮できた時は、試合に勝つことと同じくらい最高の喜びを感じます。」と話してくれました。

今年の目標は夏の『学童オリンピック』、秋の『熊本県大会』

今回ご紹介するのは、男子バスケットボールクラブチーム「スパルタンズ」です。2023年に発足したチームで今年1年を迎えた新しいチームです。昨年度は、松高小・代陽小の児童を対象としたクラブでしたが、今年度からは八代市全域の小学生を対象に活動をしていきます。現在小学4年生から6年生まで15名が在籍していて、白川ヘッドコーチをはじめ、アシスタントコーチ3名で指導しています。まだ新しいチームですが、バスケットボールが大好きなコーチと選手が化学反応を起こし、熱気と活気に溢れる



が飽きないよう工夫しています。チーム戦術は難しい部分もありますが、分かりやすく説明をしながら一人がチームのメンバーとしてプレーす

返って次に活かすための『バスケットノート』を書いてもらっています。そのノートを通してコミュニケーションや困りごとをコーチ陣が把握して、一人一人に合った指導方法を考えています。子どもたちを指導するとき



白川コーチは、「スパルタンズの子どもたちは、『次は何をするんですか?』と熱量たっぷりの子どもたちばかりです。そんな子どもたちと一緒に楽しんで新しいことにチャレンジしていくことに喜びを感じます。試合に勝

「分らない」と言える雰囲気作りを心がけ、分からない子を取り残さないように意識しています。白川コーチをはじめ、コーチ陣がバスケットボールを通して学んでほしいことは、どんな練習でも「自分で主体的に考えて行動する」とです。例えば、体育館を出入りする際の挨拶、コーチへの返事や練習中の声出し、練習以外でもトイレのスリッパを並べるなど、生きていく上で必要な『挨拶』『返事』『3S(整理・整頓・掃除)』を大切にしています。また、指導者が子どもたちの見本となるよう、練習だけではなく挨拶や3Sにも積極的に取り組んでいます。

スパルタンズでは、随時部員募集を行っています。公式LINEやInstagram、ホームページにもありますので、興味がある方はぜひチェックして下さい。

Instagram QR code: SPARTANS.YATSUSHIRO.2024

公式ライン QR code: LINE

第45回消防意見発表会

3月7日(木) 第45回

八代広域消防本部消防職員意見発表会が開催されました。毎年、消防記念日の行事の一環として消防職員に意見発表の機会を与え、職責の自覚を新たにし、士気の高揚と消防職員としての資質の向上を図る目的として行われています。今年も11名がそれぞれの思いを発表し、最優秀賞は、消防士の小橋果林さんの「ことばの力」、優秀賞に消防副士長の村岡一絵さんが選ばれました。今回、最優秀賞の小橋さんの「ことばの力」の内容を一部抜粋して掲載します。



「今すぐ避難!今すぐ避難!」令和6年1月1日、石川県能登半島で震度7の大きな地震が発生しました。地震が発生した直後、テレビをつけ

てこのアナウンサーの叫びに驚いたと同時に、「天津波警報」と聞いて、2011年に起きた東日本大震災を思い出しました。東日本大震災による死者と行方不明者数は、2万2千人。この災害をきっかけに放送局NHKでは、避難の呼び掛けが十分に行き届かなかつたという反省を踏まえ、災害発生時のアナウンスマニュアルを見直し、大きな災害発生時にはアナウンサーが普段の冷静沈着さを捨て、強い口調で繰り返し避難を呼び掛けることを決めたそうです。今回、この中継を見て異常を感じ、避難した人もいるそうです。

要となります。そこで私は、「ことば避難訓練」を提案します。これは、今まで通りの自分が避難する訓練ではなく、人を「ことば」で動かす又は避難誘導させる訓練です。各地域で行われる住民参加型の防災訓練を例に挙げて説明します。やり方は簡単です。まず始めにそれぞれ家族ごとに分かれてもらい、次に想定を与えます。「大雨で川が氾濫した」、「地震が発生し津波警報が出ています」などシミュレーションなものを構想する必要があります。最後に、家族の中で一人を決め、ほかの家族はその人を避難させるよう、ことばを使って説得します。自分は大丈夫だろうと思いついている人に避難してもらおうためには、どのように呼びかければよいでしょう。優しく語りかけてみよいか、いや、強い口調で言ったほうがいいかも。自分に置き換えて考えるのもあります。大切なことは、とにかく避難してもらうことです。

こない人もいましたが、様々なことばで説得し、無事避難成功した家族もあれば、頑なに避難を拒み続け、とうとうその人を残して避難した家族もありました。終了後、感想を聞くと、「私のことを心配して一生懸命声をかけてくれたことが嬉しかった」、「最後まで意地でも避難しなかつたけど、周りをこんなにも困らせるものだと自覚することができたよ」など、これまでの訓練では聞けなかつた新たな気づきばかりでした。日本には、古くから「言霊(ことだま)」という言葉があるように、ことばには魂が宿るように、不思議な力があるといわれています。相手のことを心から想い寄せられたことばは、必ず相手に伝わると私は信じています。あなたのことばの「ことば」で導いて下さる。助かるべき命を。

小橋さんにお話を聞きました。『ある参加者の方から、息子の呼びかけには応答しなかつたが孫の呼びかけで避難を決めたという事例がありました。今後は孫世代を中心とした「ことば避難訓練」の実施に力を入れて取り組んでいきます。また、訓練に参加された方が家に帰って家族に伝え、遠方に住む祖母に教えてあげるなど、ひとりから家族へ、家族から職場や地域へ、一つずつ広がってほしいなと思います。』
最優秀賞を受賞した小橋さんは4月12日(金)に八代市で開催される第47回熊本県消防職員意見発表会に八代広域消防本部代表として参加します。

《発表内容》

「今すぐ避難!今すぐ避難!」令和6年1月1日、石川県能登半島で震度7の大きな地震が発生しました。地震が発生した直後、テレビをつけ



の大きな地震が発生しました。地震が発生した直後、テレビをつけ

災害発生後、被災者に最初には、私たち消防職員ではなく、家族や友人などいつも近くにいる人たちです。自分自身も被災している状況の中、避難しようとしていない人を避難行動へ導くことは簡単なことではありません。だからこそ、普段からことばの力を高めるための訓練が必要

私は上司に相談し、この「ことば避難訓練」を、地区の防災訓練の中で実際に取り入れてみました。最初は恥ずかしさもありません。最初は「ことば」が出て

小橋さんにお話を聞きました。『ある参加者の方から、息子の呼びかけには応答しなかつたが孫の呼びかけで避難を決めたという事例がありました。今後は孫世代を中心とした「ことば避難訓練」の実施に力を入れて取り組んでいきます。また、訓練に参加された方が家に帰って家族に伝え、遠方に住む祖母に教えてあげるなど、ひとりから家族へ、家族から職場や地域へ、一つずつ広がってほしいなと思います。』



切り取ってお持ちください
技術料10%offいたします
有効期限:2024/4/30まで
他の割引券との併用は出来ません

新しい出会いにドキドキ
春のあなたを
探してみませんか

プラスワン美容室
PLUSONE

八代市出町8-17 プラスワンビル2F
TEL:0965-33-0190
http://www.plusone-group.com
定休日:第一日曜・月曜 毎週月曜